



□ ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書と設置説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **△警告** は誤った取り扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△注意** は誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、「分解禁止」の内容です。



この絵表示は、「接触禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

やけど、漏水をした場合の処置

やけど

漏水

やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。漏水した場合は元栓、または止水栓を開めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

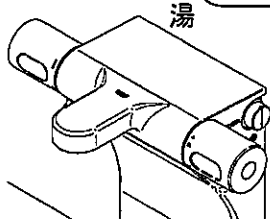
△警告



禁止

湯温度は 85℃より高温で使用しないでください。

85℃以下

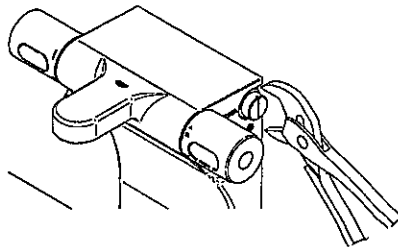


85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

加工及び接合等の改造はしないでください。

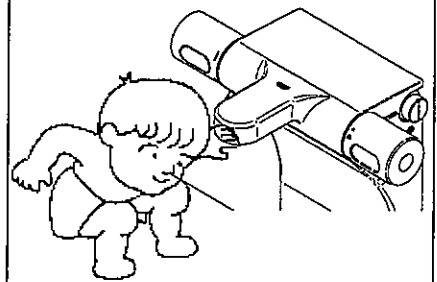


器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

小さいお子様だけの使用は避けてください。

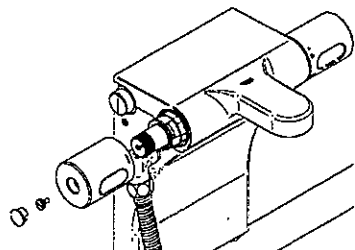


やけど、けがをするおそれがあります。



分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

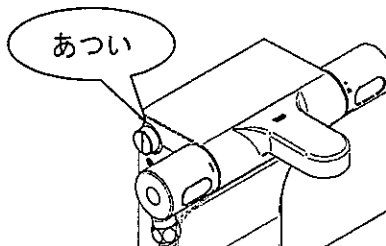


器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

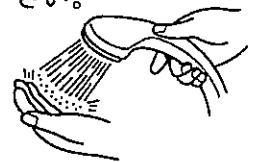
水栓本体左側(湯側)は給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。



やけどするおそれがあります。



湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。

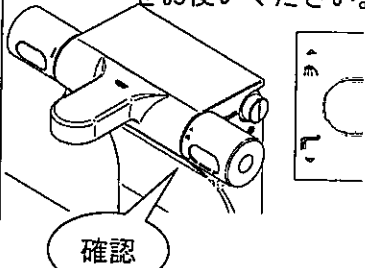


確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切換時や、シャワー吐水状態の切換時に、吐水温度が高くなることがありますのでご注意ください。

⚠ 警告



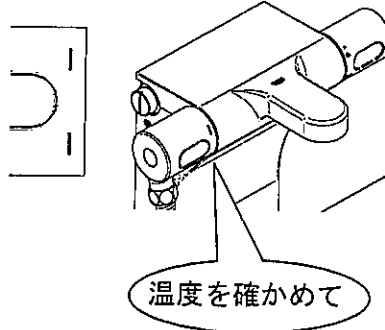
お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切換ハンドルで確認してから湯をお使いください。



吐水口吐出とシャワー吐出を間違えるとやけどするおそれがあります。



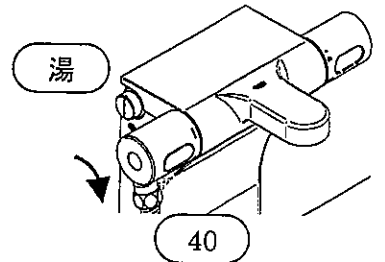
温度調整ハンドルの表示を確かめた後、吐出してください。



確かめないと高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



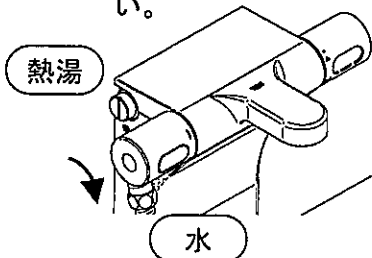
高温の湯をお使いの後は、必ず温度調整ハンドルを40℃以下に戻しておいてください。



次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどするおそれがあります。



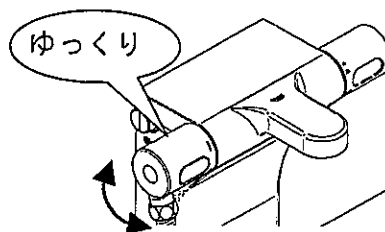
高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。



次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。



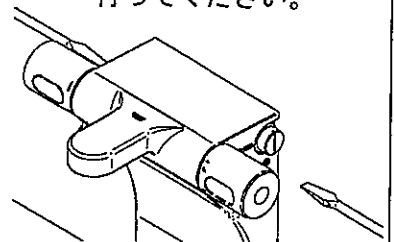
温度調整ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。



やけどするおそれがあります。



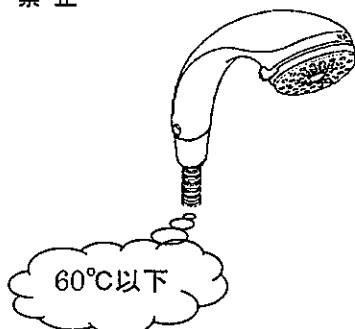
ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。



ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



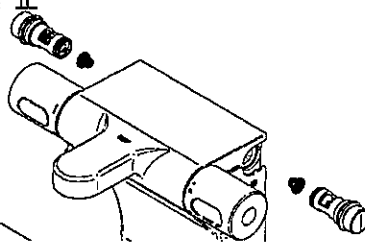
シャワーには60℃以上のお湯を通水させないでください。
禁止



通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。



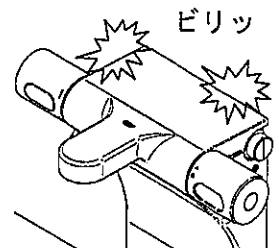
水抜き栓(逆止弁)は水抜き以外の目的で開けないでください。
禁止



水抜き栓(逆止弁)をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。
禁止



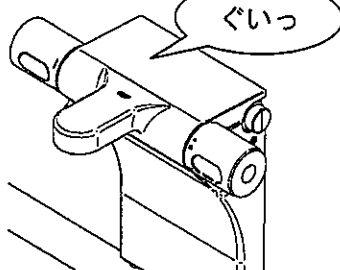
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

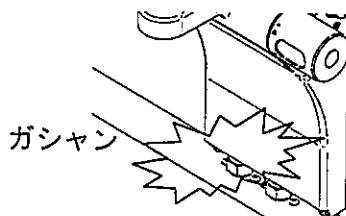
器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



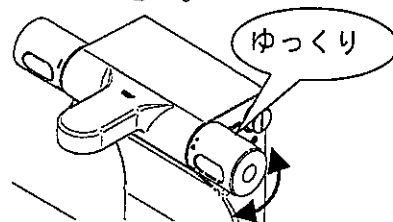
めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。



めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。



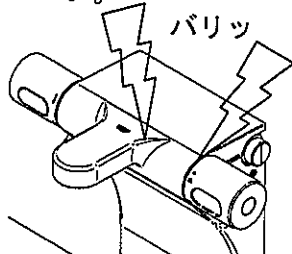
吐水切換ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。

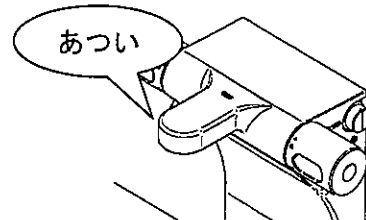


落としたり、ぶついたりすると破損の原因になります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。



やけどするおそれがあります。

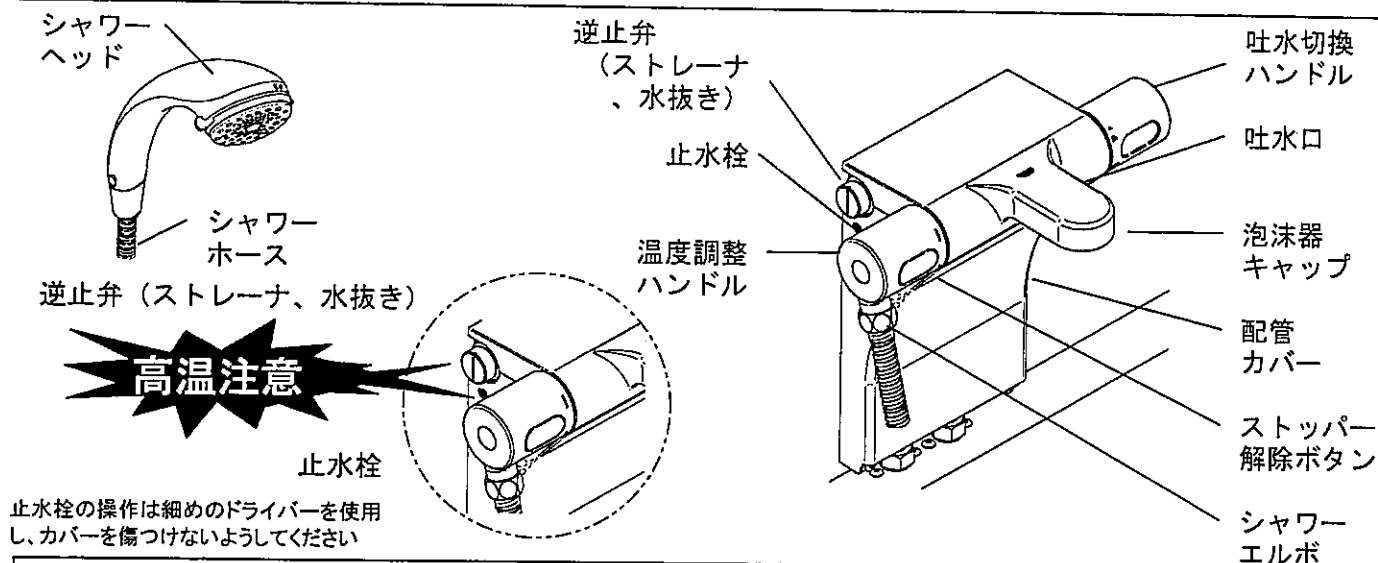
ご使用の前に

給湯機の使用上のご注意

- 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より 10℃以上高くしてください。
なお、安全のため 60℃給湯をおすすめします。
- 吐水切換ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。
給湯機が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- 吐水切換ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。
(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は吐水切換ハンドルで調節を行ってください)
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなることがあります。
その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。(瞬間型の場合)

ご使用方法

各部の名称



温度調整方法

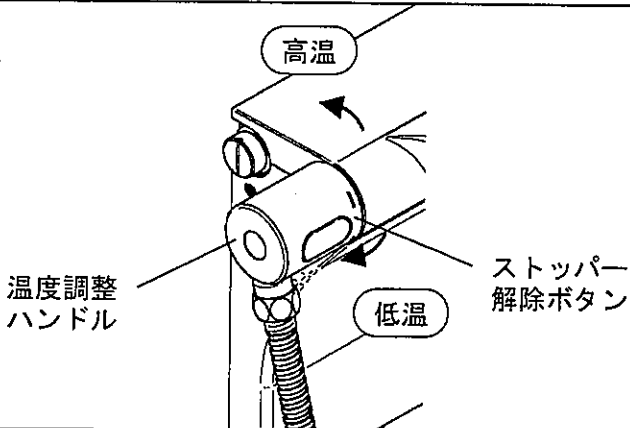
温度調整ハンドルを回して、お好みの温度に合わせます。
高温に回しますと、約40℃で一度温度調整ハンドルが止まります。

それ以上の高温を出すときには、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。

高温を使用後は40℃以下に戻してください。

「お願い」温度調整ハンドルのズレを直すには、温度調整ハンドルの設定方法を参照してください。

△注意 ストッパー位置の温度は、温度調節の目安としてください。



吐水切換方法

吐水口 吐水切換ハンドルを下に回す「」と吐水口から湯水がでます。

シャワー 吐水切換ハンドルを上回す「」とシャワーから湯水がでます。

止水 吐水切換ハンドルのくぼみを本体の正面に合わせると止水します。

△警告 湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

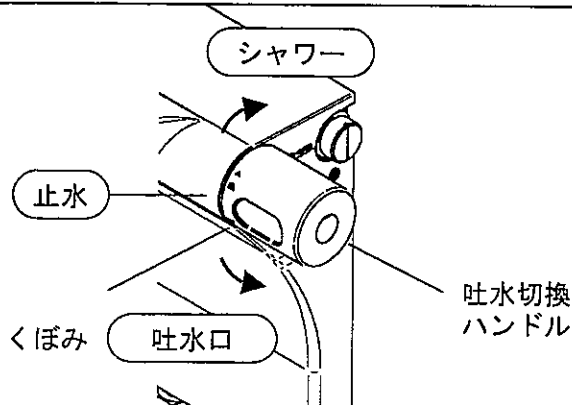
△注意 吐水切換ハンドルは、ゆっくり操作してください。急な操作は衝撃音（ウォーターハンマー）が発生し、漏水の原因となります。

通水音が大きい場合

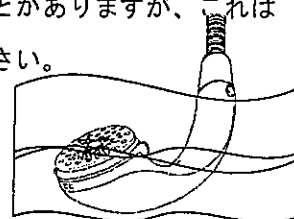
止水直後の水滴について

吐水切換ハンドルを使用する際に通水音が大きい場合は、湯水の止水弁をしぼって吐水切換ハンドルを全開にして使用してください。（流量の調節方法 参照）

シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



△注意 シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。



日常のお手入れ・保守

ストレーナの清掃方法

ストレーナ

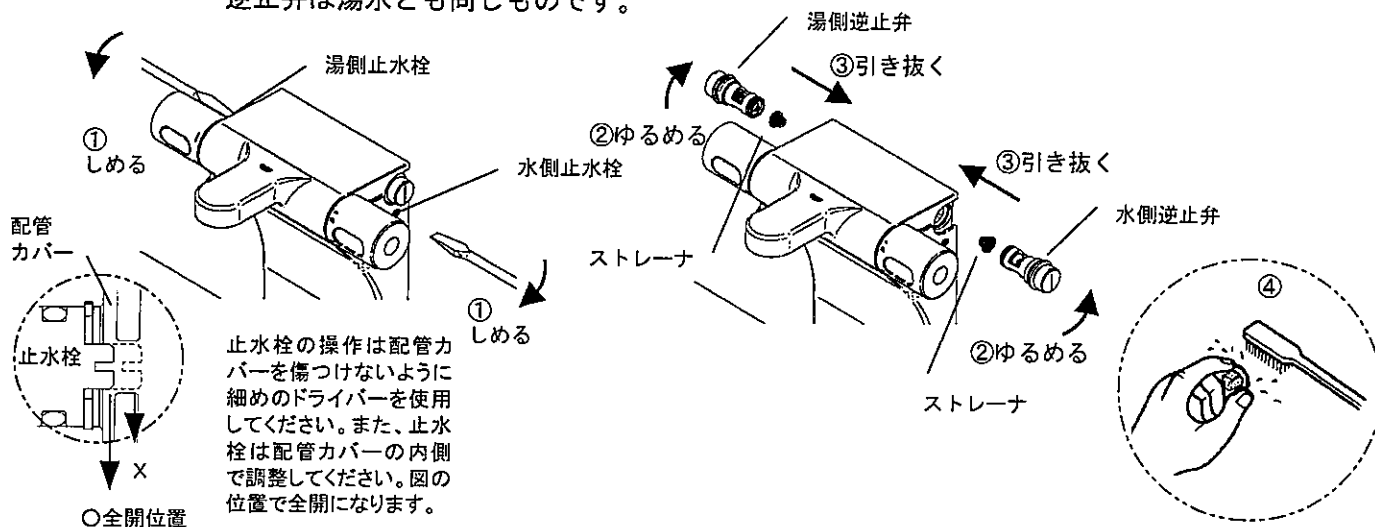
湯水逆止弁のストレーナにゴミがつかりますと、吐出量が減ったり、希望する温度にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。



警告 ストレーナの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。湯側逆止弁の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際は、やけどをしないように注意してください。

- ⑥湯側・水側の止水栓（二ヶ所）をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
 - ⑦湯側・水側の逆止弁を（二個）を取り外します。
 - ⑧逆止弁からストレーナを取り外します。
 - ⑨ストレーナをブラシで、ゴミ・水アカ等を洗い流します。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

「お願い」 組み立て時は、逆止弁はドライバー等で確実に締め付けてください。
逆止弁は湯水とも同じものです。

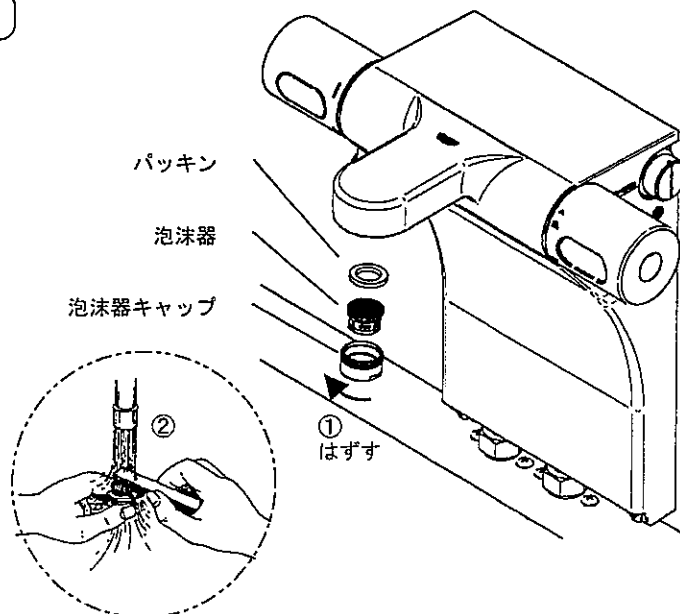


吐水口の泡沫器

吐水口の泡沫器にゴミがつかりますと、吐出量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ①泡沫器キャップを取り外します。
 - ②泡沫器をブラシで、ゴミ・水アカ等を洗い流します。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

※パッキンは紛失しないようにしてください。



日常のお手入れ・保守

お手入れのしかた

軽い汚れの場合

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、かわいた布でふき取ります。

ひどい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから乾いた布でから拭きします。

使ってはいけないもの

製品には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。

また、金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



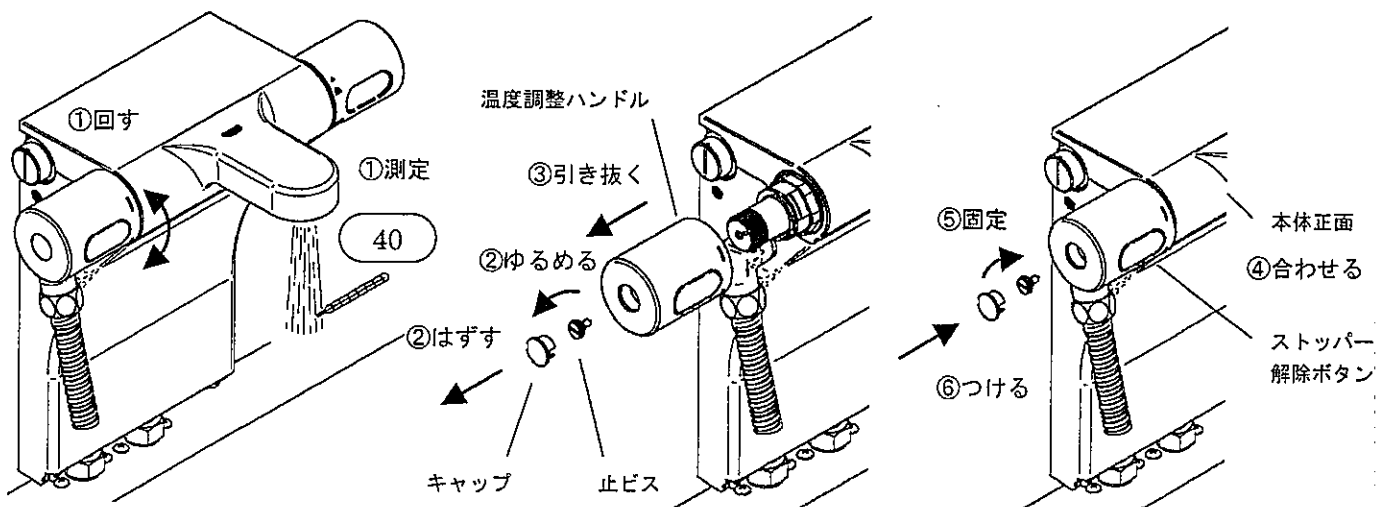
温度調整ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしています。取付現場の圧力状況により適切な湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルが吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルのストッパー解除ボタンが本体の正面になるときに40℃になるように、はめ直してください。

はじめに確かめてください

- 止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- 給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。※推奨温度は約60℃です。

- ①全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯がでるところまで、温度調整ハンドルを回します。
- ②キャップを引き抜き、温度調整ハンドルを回転させないよう止ビスを取り外します。
- ③温度調整ハンドルをまっすぐに引き抜きます。
- ④温度調整ハンドルのボタンを本体の正面になるよう差し込みます。
- ⑤温度調整ハンドルを回転させないよう止ビスを締め付けます。
- ⑥キャップを温度調整ハンドルに差し込みます。



日常のお手入れ・保守

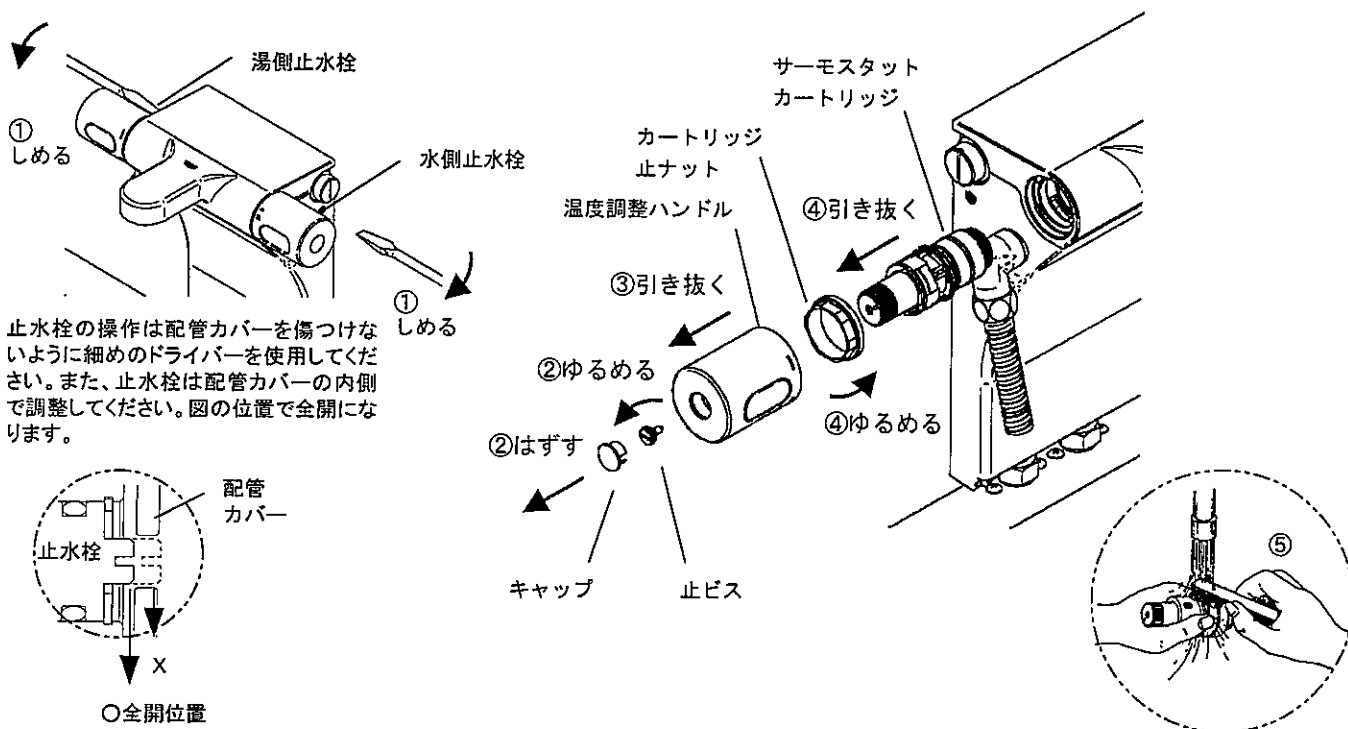
サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調整がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

△警告 サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ①湯水両側の止水栓をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
 - ②キャップ、止ビス、温度調整ハンドルを取り外します。
 - ③止ビス、温度調整カラーを取り外します。
 - ④カートリッジ止ナットを取り外し、サーモスタットカートリッジを引き抜きます。
 - ⑤サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

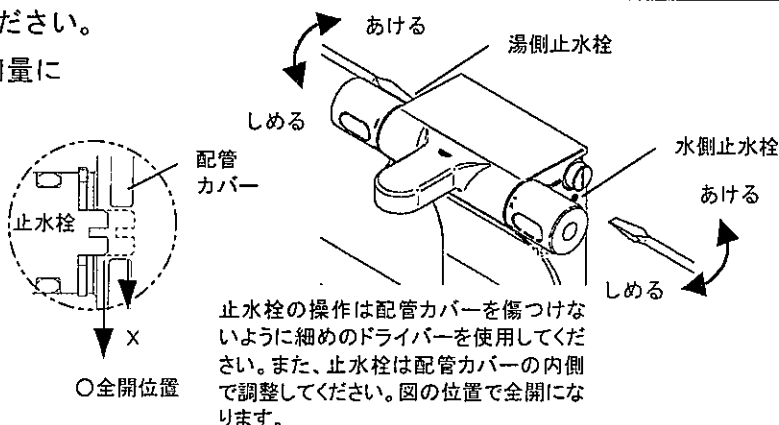
「お願い」組み立て時は、カートリッジ止ナットはスパナ等で確実に締め付けてください。取り付け後は、温度調整ハンドルのストップ位置が、吐水温度(40℃)と合っているか確認してからご使用ください。



流量(止水栓)の調整方法

流量調整は右記の方法で行なってください。

※水と湯の流量が3 : 1程度か、同量になるようにしてください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

温度調整ハンドルの操作性(一ヶ月に一回程度)

- △注意 時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。
温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

吐水切換ハンドルの操作性 時々吐水切換ハンドルをいっぱい回してください。
吐水切換ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。

配管まわりからの水漏れ (一ヶ月に一回程度)

- △注意 配管まわりから水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検をおすすめします。

水抜き方法

(凍結が予想される場合)

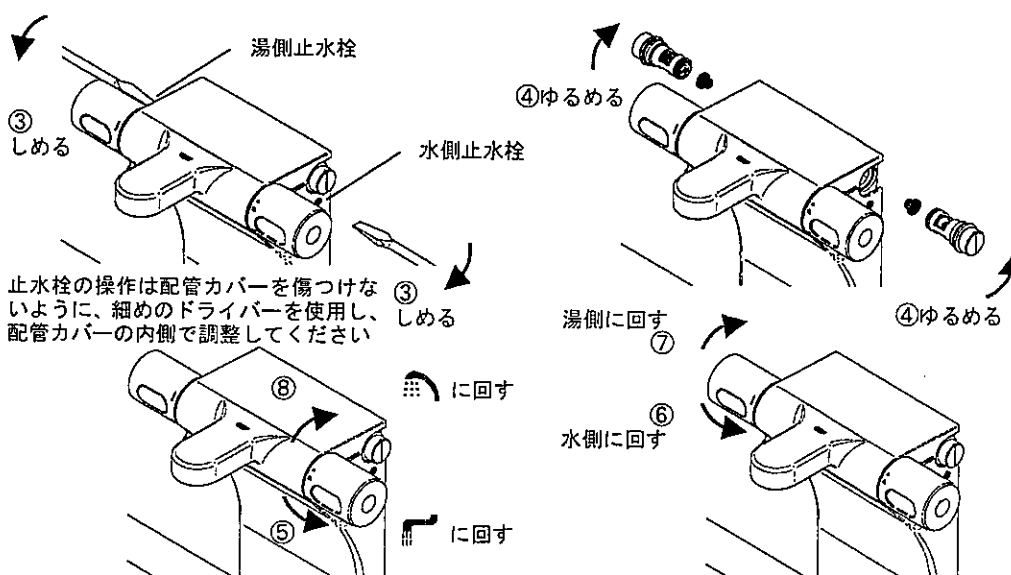
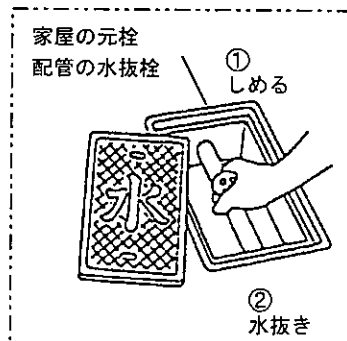
- △警告 湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください

解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- △注意 凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。
怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操 作
—	①	家屋の元栓を閉めます。
—	②	家屋側の配管に水抜き栓がある場合は、水抜き作業を行なってください。
③	—	湯側・水側の止水栓(二ヶ所)をしっかりと締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
④	④	湯側・水側の逆止弁(二個)を取り外します。
⑤	⑤	吐水切換ハンドルを吐水口側にします。
⑥	⑥	温度調整ハンドルを水側に回して、水側の水を抜きます。
⑦	⑦	温度調整ハンドルを湯側に回して、湯側の湯を抜きます。
⑧	⑧	吐水切換ハンドルをシャワー側にします。
⑨	⑨	シャワーヘッドを床におろし、シャワー、ホース内の水を抜きます。



水抜き後 通水を再開する

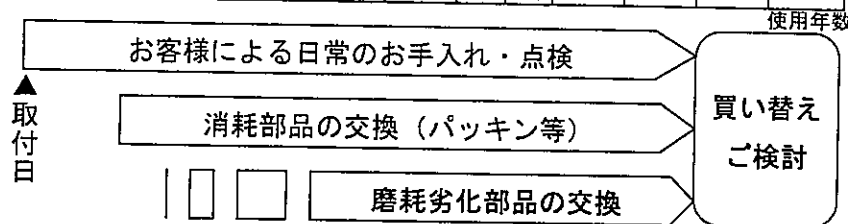
「お願い」必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、吐水切換ハンドルを止水の位置にしてから通水してください。

再通水の時に水が出ない場合

吐水切換ハンドルを吐水口側にして、吐水状態でそのまましばらくお待ちください。
これは、水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象で、異常ではありません。

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れの原因になりますので、交換が必要です。

磨耗・劣化部品 (水栓の種類によって異なります)
例) カートリッジ、シャワーホース、逆止弁

△注意 中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。)

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはグローエジャパンサービス課にご連絡ください。

補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品 (機能維持に不可欠な部品) の供給期間は製造中止後10年です。

故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	点検箇所
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	5 ページ 「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません	—	—
吐水量が少ない	止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	8 ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6 ページ 「ストレーナの清掃方法」
シャワーが弱い	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	9 ページ 「サーモスタット清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	水側止水栓は十分に開いていますか	水側止水栓を開ける	8 ページ 「流量の調節方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	8 ページ 「サーモスタット清掃方法」
低温しか出ない	湯側止水栓は十分に開いていますか	湯側止水栓を開ける	8 ページ 「流量の調節方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	8 ページ 「サーモスタット清掃方法」
	給水圧力が給湯圧力より高くなっておりませんか	水側止水栓で水量を調整する	8 ページ 「流量の調節方法」
	必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を 10℃以上上げる	—	—
温度調整がうまくいかない	水側、湯側の止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	8 ページ 「流量の調節方法」
	水側、湯側のストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6 ページ 「ストレーナの清掃方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	8 ページ 「サーモスタット清掃方法」
	給湯機から十分なお湯がきていますか	給湯機の設定温度、作動を確認する	—
	温度調整ハンドルの設定は合っていますか	温度調整ハンドルの設定、作動を確認する	—
	湯水を逆に配管しておりませんか	給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください	—
吐水が飛び散る	吐水口の泡沫器にゴミ等がつまっていますか	吐水口の泡沫器を清掃する	6 ページ 「泡沫器の清掃方法」
シャワーの散水状態が安定しない	給水圧力が給湯圧力より高くなっておりませんか	水側止水栓で水量を調整する	8 ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分なお湯がきていますか	給湯機の設定温度、作動を確認する	—

水栓本体内部のメンテナンスをする場合

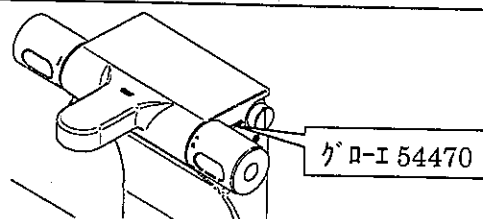
△注意

修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはGROHE修理受付センターにご依頼ください。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはグローエジャパンサービス課にご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。
シールの左下が品番です。



修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

連絡していただきたい内容

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

グローエジャパン株式会社サービス課

03-3298-9683

受付時間

平日 9:30~17:30 (受付・お問い合わせ)

平日夜間・土・日・祝日 24時間 (受付のみ)

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。下記の保証期間内に故障が生じた場合は、本書をご提示の上、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。
※取り付け日・取扱店の欄に記載の無い場合は、無効になります。

無料修理規定 (保証規定)

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で保証期間内に故障した場合、無償修理致します。
2. 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご移居・ご贈答品などで、本書を記載の取扱店に修理をご依頼できない場合、当社サービス課にご相談ください。
4. 保証期間内でも以下の場合、有償修理とさせていただきます。
 - (1) 使用・維持保管上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
 - (2) 温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
 - (3) お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
 - (4) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
 - (5) 消耗部品の劣化に伴う故障の損傷
 - (6) 本書の提示がない場合
 - (7) 本書に取付日・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間 : 取付日より2年

取扱店 (店名・住所・TEL)

取付日 : 年 月 日

グローエジャパン株式会社

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル
TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811
大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル
TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHEJAPAN ホーム
ページ



- 設置前に、この設置説明書を必ずお読みのうえ、正しく設置してください。
尚、この設置説明書と同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **△警告** は誤った取り扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△注意** は誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



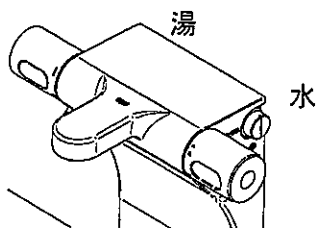
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

△警告



禁止

湯水を逆に配管しないでください。
給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください



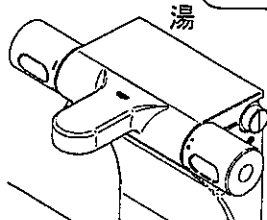
水を出そうとしても、湯が出て、やけどをすることがあります。



禁止

湯温度は 85℃より高温で使用しないでください。

85℃以下

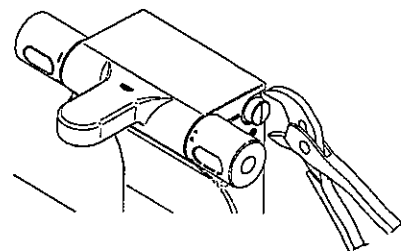


85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

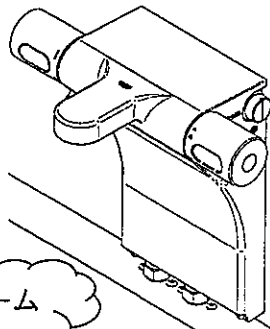
加工及び接合等の改造はしないでください。



器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相談ください。



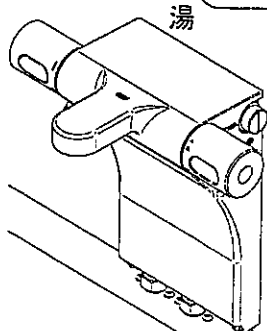
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。



禁止

給湯に蒸気を使用しないでください。

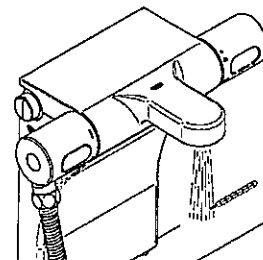
蒸気禁止



器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。



温度調節ハンドルのストップ位置が、吐水温度(40℃)と合っているか確認してください。

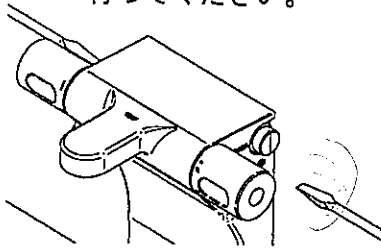


取付現場の圧力状況により40℃の湯温にならず、やけどをするおそれがあります。

⚠ 警告



ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。

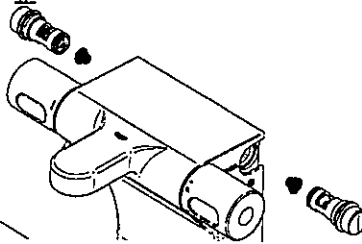


ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

水抜き栓(逆止弁)は水抜き以外の目的で開けないでください。

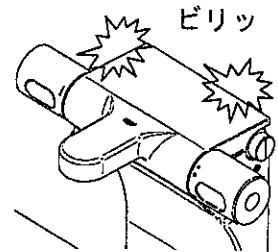


水抜き栓(逆止弁)をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

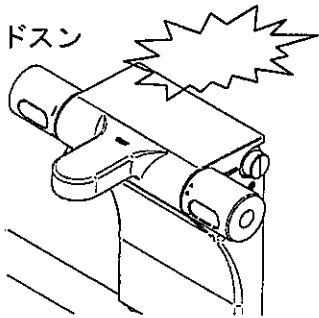


通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意



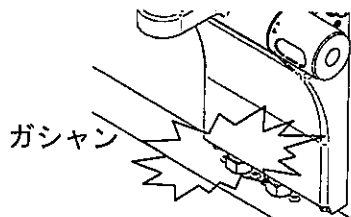
器具に強い力や衝撃を与えないでください。



器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



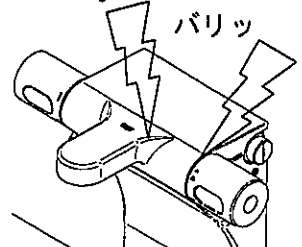
めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。



めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。



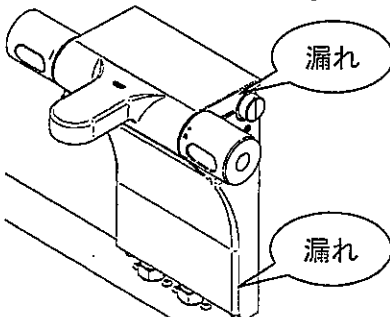
凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



施工完了後は、配管接続部及び器具から水漏れのないことを確認してください。



漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。



落としたり、ぶついたりすると破損の原因になります。

取り付け前に

① 使用水压「 $A = (\text{給湯器の最低作動圧力}) + (\text{配管圧力損失})$ 」

(1) 瞬間給湯機との組み合わせ

設定条件 ・ 水温:25℃ ・ 給湯機温度調節:高温設定(60℃) ・ 吐水温度:40℃ ・ ハンドル全開
-比例制御式-

最低必要圧力	最高水压
$A + 0.08 \text{ MPa}$ (0.8 kg f/cm ²)	0.75 MPa (7.6 kg f/cm ²)

-能力単独式/能力切替式-

給湯器 号数	最低必要圧力	最高水压
8号	$A + 0.12 \text{ MPa}$ (1.2 kg f/cm ²)	0.75 MPa (7.6 kg f/cm ²)
10号	$A + 0.20 \text{ MPa}$ (2.0 kg f/cm ²)	
12号	$A + 0.28 \text{ MPa}$ (2.7 kg f/cm ²)	

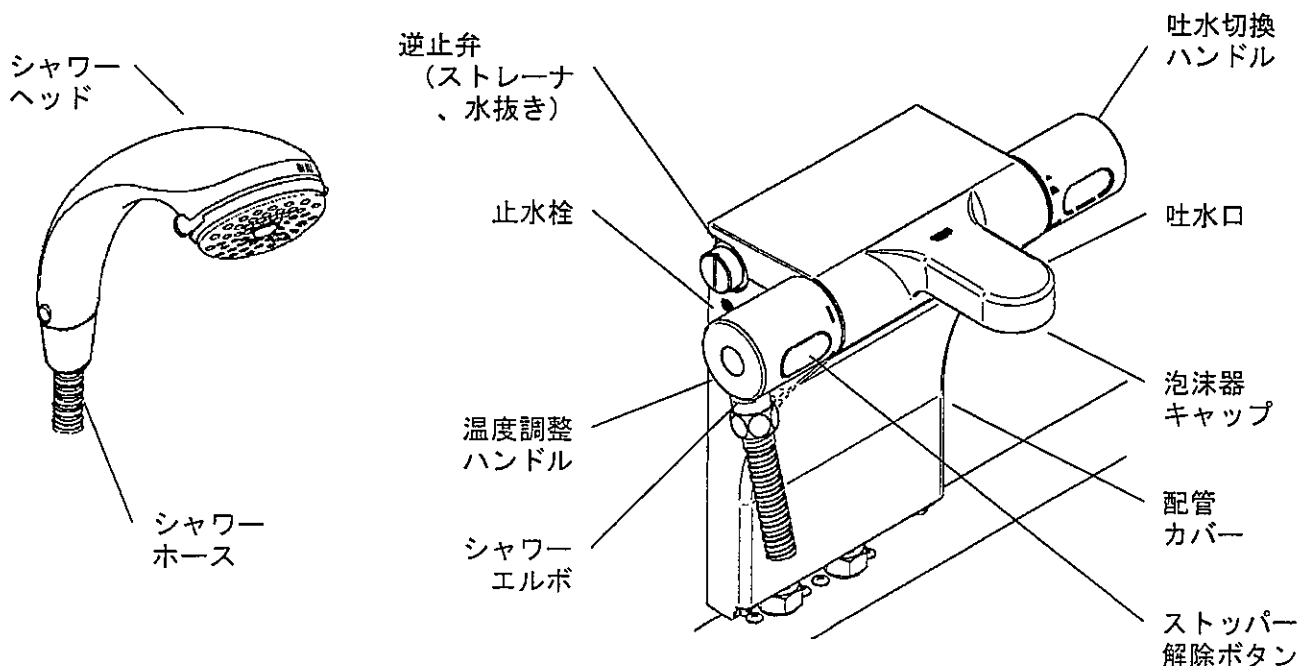
能力切替式の湯沸かし器では、能力切替を行なうことにより使用範囲が広がります。

(2) 貯湯式給湯機との組み合わせ

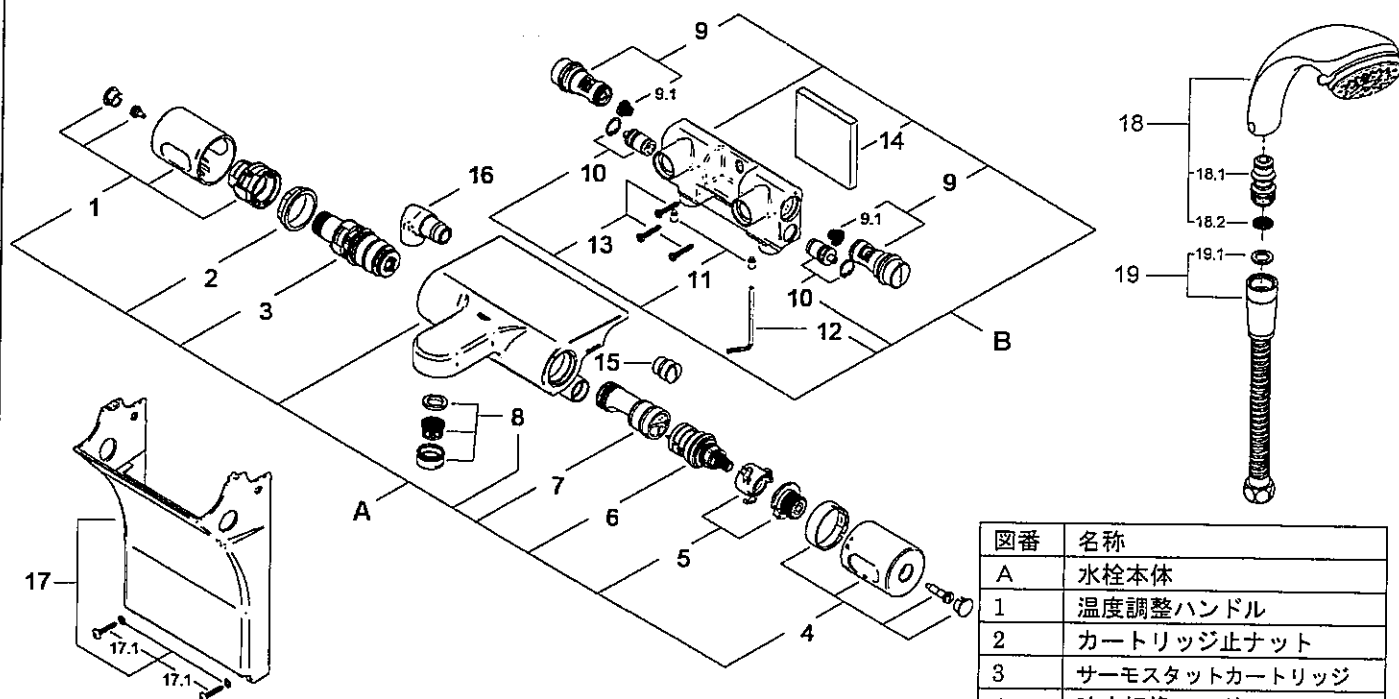
最低必要圧力	最高水压
$A + 0.05 \text{ MPa}$ (0.5 kg f/cm ²)	0.75 MPa (7.6 kg f/cm ²)

- ② 吐水切換ハンドルは、全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くする(3:1程度)か、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3 MPa (3.0 kg f/cm²)から0.75 MPa (7.6 kg f/cm²)までは、止水栓で流量調整してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75 MPa (7.6 kg f/cm²)を超えるときは、市販の減圧弁で、0.2 MPa (2.0 kg f/cm²)程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で設備し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して、適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

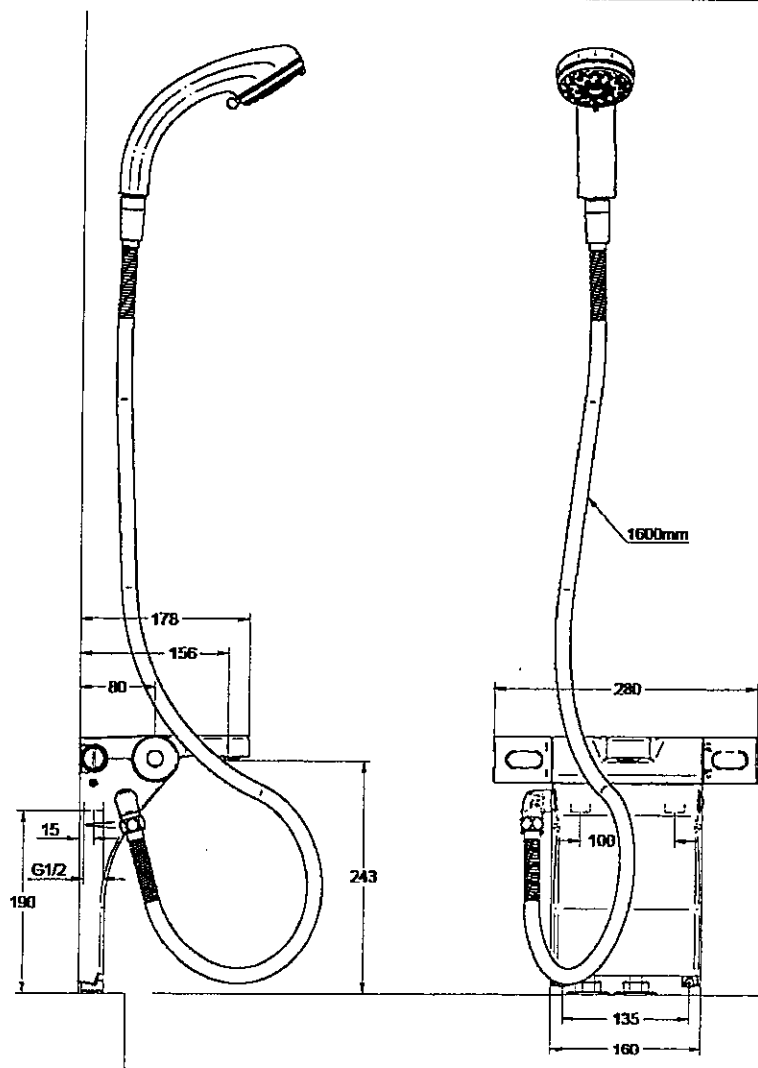
各部の名称



分解図

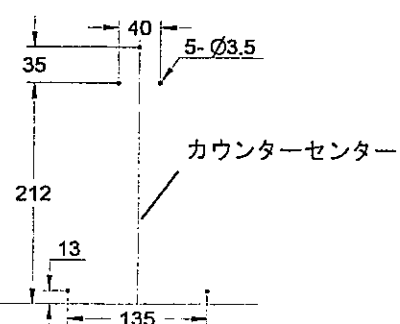


寸法図



図番	名称
A	水栓本体
1	温度調整ハンドル
2	カートリッジ止ナット
3	サーモスタットカートリッジ
4	吐水切換ハンドル
5	インサートセット
6	一時止水付吐水切換弁
7	混合筒
8	エアレーター
B	インレット本体
9	逆止弁
9.1	ストレーナ
10	止水栓
11	固定ビス
12	工具(3mm六角レンチ)
13	タッピングねじ(4x20)
14	裏板
15	プラグ栓
16	シャワーエルボ
17	配管カバー
17.1	Sタイツねじ(4x25)
18	シャワーヘッド
18.1	シャワーニップル
18.2	シャワーストレーナー
19	シャワーホース
19.1	ホースパッキン

壁パネル取付穴位置



取り付け手順

1

給水給湯管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

2

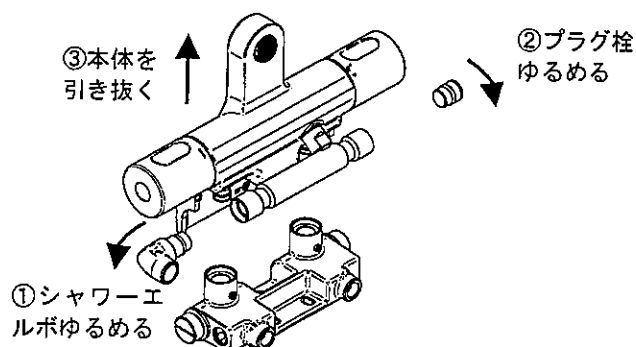
壁パネルの穴あけ

システムバスの設置説明書に従って壁パネル取付穴位置(4ページ参照)に穴あけしてください。

3

本体の準備

- ①本体からシャワーエルボを手でゆるめ、取り外してください。
- ②本体からプラグ栓を工具(ドライバー)等でゆるめ、取り外してください。
- ③インレットから本体を手で引き抜き、取り外してください。
- ④配管カバーは梱包箱から取り出してください。
※各部品はキズがつかないように取り扱いには注意してください。



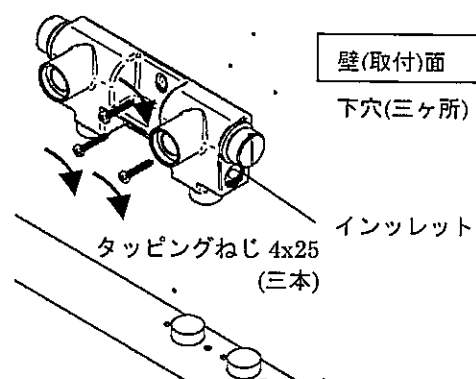
4

インレットの取り付け

インレットフランジの穴を壁の下穴(三ヶ所)に合わせ、タッピングねじ 4x20(三本)にてねじ込み固定します。

「注意」※タッピングねじ 4x25 を使用してください。

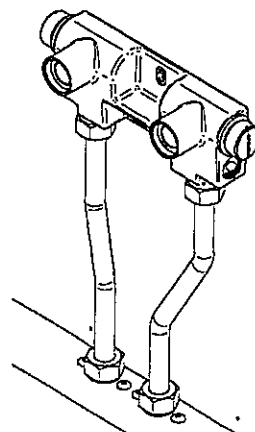
S タイプねじ 4x25 は配管カバー用です。



5

給水給湯管の接続

システムバスの設置説明書に従って給水給湯管の接続をしてください。



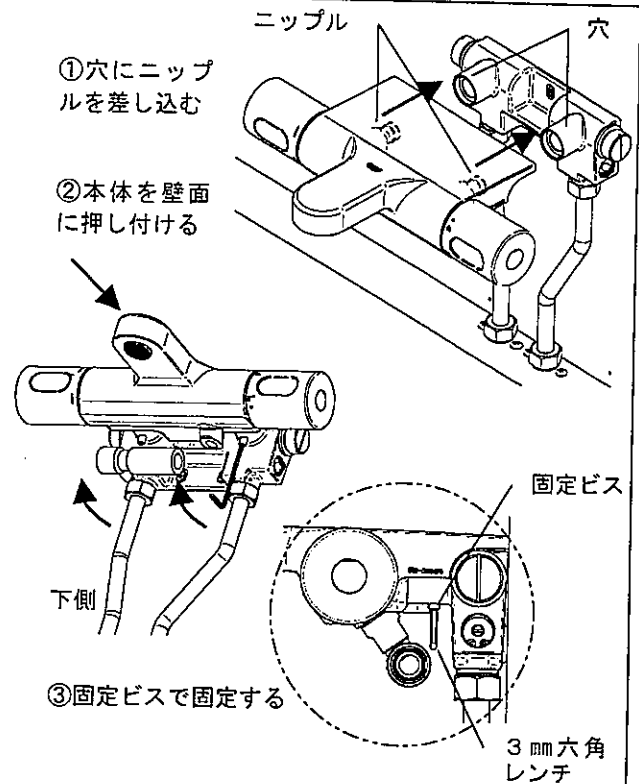
取り付け手順

6

本体の取り付け

- ①インレットの穴(ニヶ所)に本体のニップル(ニヶ所)を差し込んでください。
- ②本体を壁(取付)面に押し付け、インレット下部のねじ穴(ニヶ所)に、固定ビス(二本)をねじ込み本体を固固定します。
- ③固定ビス(二本)は交互にねじ込み、付属の工具(3mm六角レンチ)で締め付け確実に固定してください。

「注意」※インレット本体と水栓本体の隙間が少ないので、3mm六角レンチは長いほうと短いほうを利用し、固定ビスを完全にねじ込んでください。



7

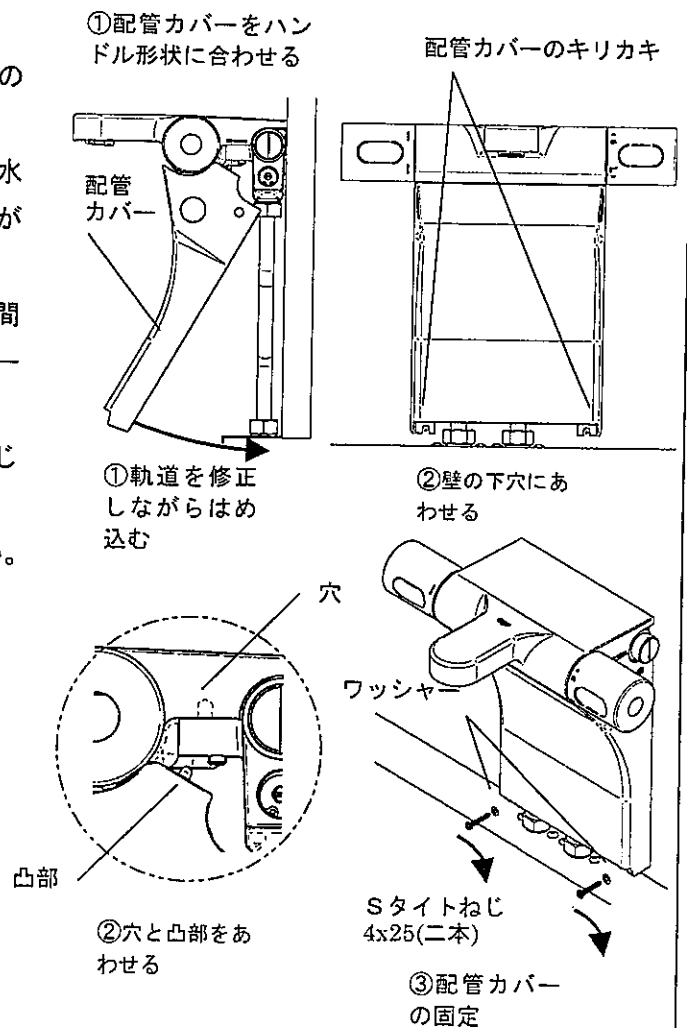
配管カバーの取り付け

- ①配管カバーの上部をハンドルの下部に合わせ、図のような軌道で回転させ、はめ込んでください。

「注意」※はめ込みにくい場合は、配管カバーを水栓本体に押し当てて、軌道を修正しながらはめ込んでください。

- ②本体の穴と配管カバーの凸部をあわせ、面にすき間がないように配管カバーを押し上げて、配管カバー下部のキリカキを壁の下穴にあわせてください。
- ③Sタイツねじ 4x25(ニヶ所)にワッシャーを入れねじ込み配管カバーを固定します。

「注意」※Sタイツねじ 4x25 を使用してください。タッピングねじ 4x25 はインレット用です。



取り付け手順

8

シャワーエルボの取り付け

- ①本体左側(または右側)のシャワー取り出しに、シャワーエルボを手でねじ込み取り付けます。
 - ②本体右側(または左側)のシャワー取り出しに、プラグ栓を工具(ドライバー)等でねじ込み取り付けます。
- 「注意」※締め付けは三回転以上としてください。締め付け回数が少ないと漏水するおそれがあります。

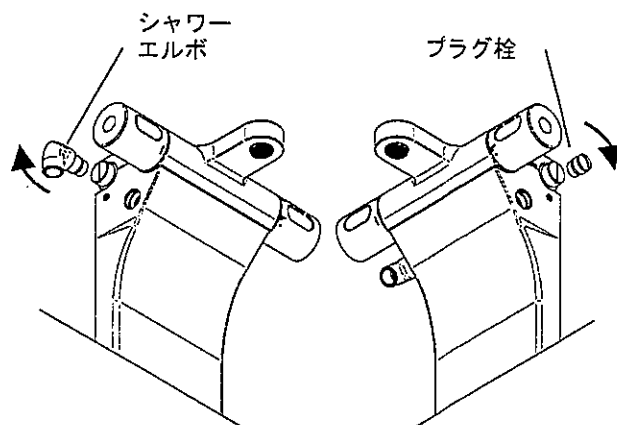
シャワーエルボはスライドバーが取り付け方向に取り付けてください。

※ A R B L 勝手の場合：左側

※ A L B R 勝手の場合：右側

①シャワーエルボの取り付け

②プラグ栓の取り付け



9

シャワーホースの取り付け

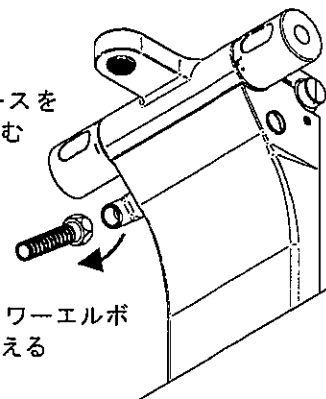
シャワーホース (JPH03000) は、シャワーヘッドに同梱されています。

- ①シャワーエルボの接続ねじに、シャワーホースの袋ナットを工具 (23mmスパナ) 等で締め付けてください。

「注意」※ホースをねじ込むときは、エルボを手で押さえてください。

①ホースをねじ込む

※シャワーエルボを押さえる



10

シャワーヘッドの取り付け

シャワーヘッド (28185) は、シャワーヘッドに同梱されています。

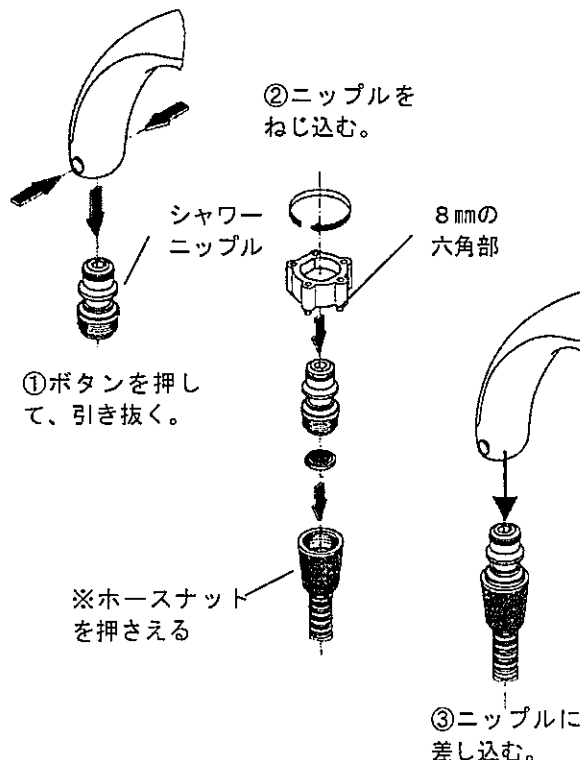
- ①シャワーヘッド下部のスナップボタンを同時に両側から押し、シャワーニップルを引き抜いてください。
- ②シャワーニップルにストレーナをはめ込み、シャワーニップルを付属の工具 (8mmの六角部) で右回しにねじ込んでください。

「注意」※ニップルを強くねじ込み過ぎると破損、またはパッキンの割れ等が発生する場合があります。

「注意」※ニップルをねじ込むときは、ホースナットを手で押さえてください。

- ③シャワーニップルにシャワーヘッドを『カチッ』と音がするまで差し込んでください。

「注意」※きちんと差し込んだ状態でないと、水圧によりシャワーヘッドがシャワーニップルから外れてしまう場合があります。



取り付け後の点検と清掃

通水確認

△注意 水栓を取り付けた後、通水して、湯水の出し止めを5～6回繰り返して、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。

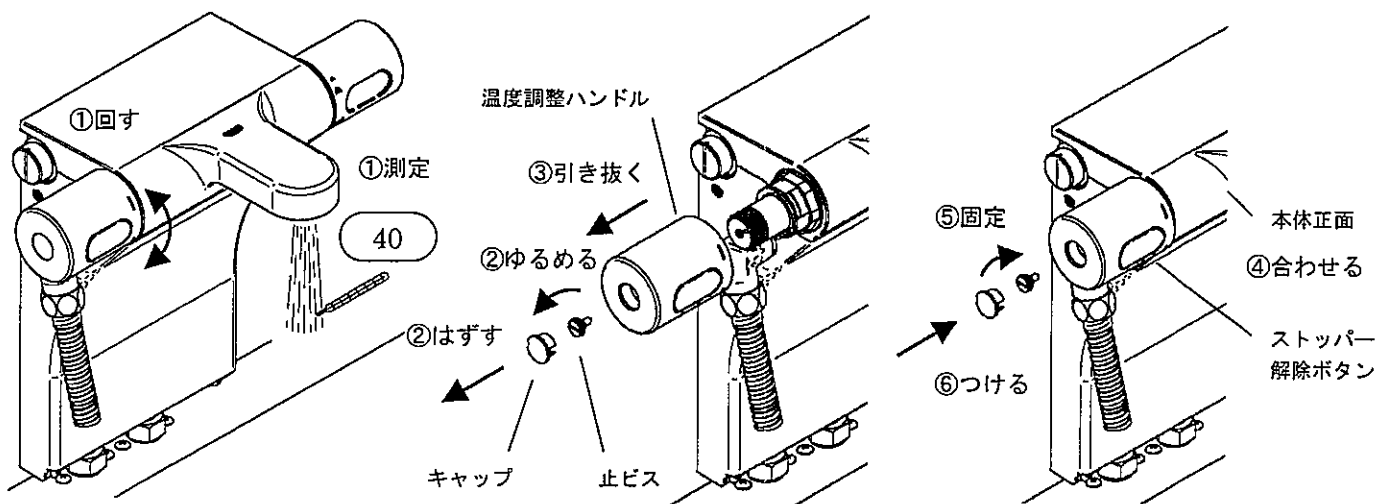
温度調整ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により適切な湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルが吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルのストッパー解除ボタンが本体の正面になるときに40℃になるように、はめ直してください。

はじめに確かめてください

- 止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- 給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。※推奨温度は約60℃です。

- ①全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯がでるところまで、温度調整ハンドルを回します。
- ②キャップを引き抜き、温度調整ハンドルを回転させないよう止ビスを取り外します。
- ③温度調整ハンドルをまっすぐに引き抜きます。
- ④温度調整ハンドルのボタンを本体の正面になるよう差し込みます。
- ⑤温度調整ハンドルを回転させないよう止ビスを締め付けます。
- ⑥キャップを温度調整ハンドルに差し込みます。



ストレーナ清掃のお願い

止水栓のストレーナと吐水口の泡沫器にゴミがつかりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、設置後必ず清掃してください。



取扱説明書の日常の保守・点検・お手入れ 参照

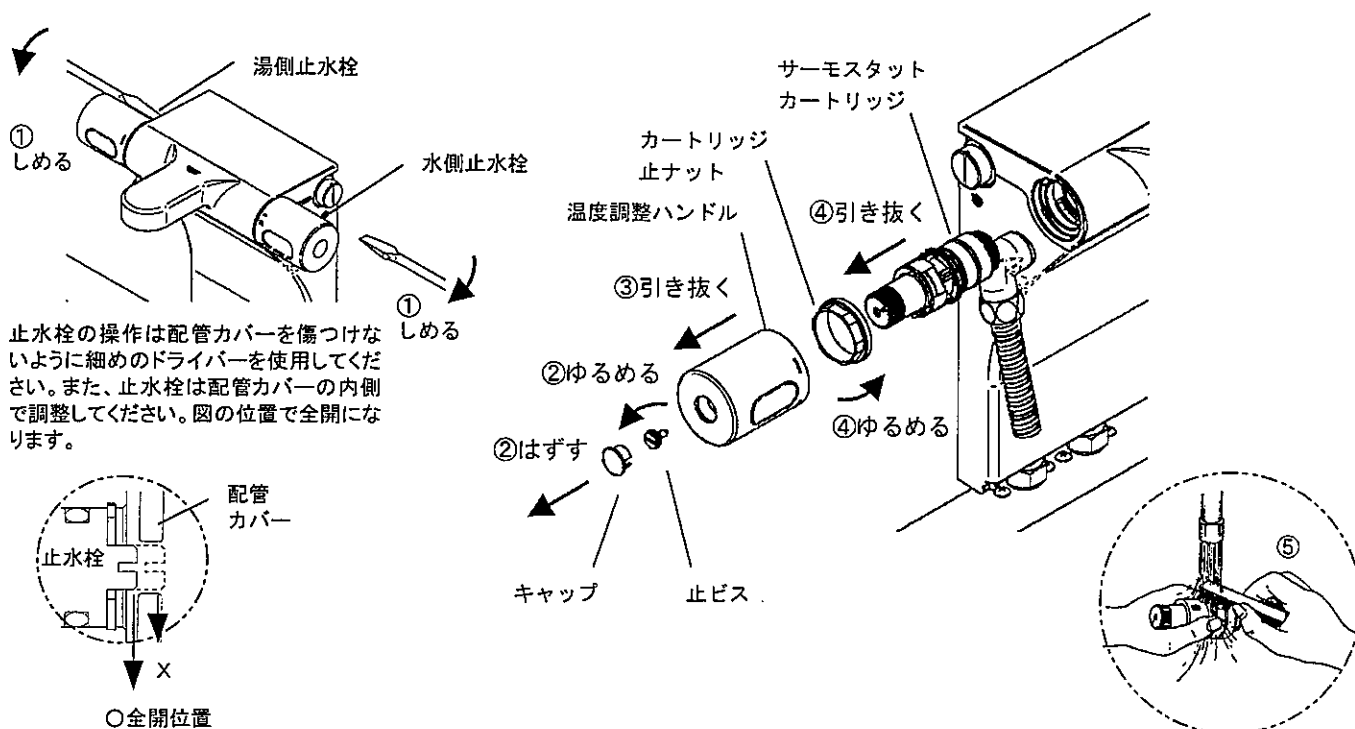
サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調整がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

△警告 サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ①湯水両側の止水栓をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
 - ②キャップ、止ビス、温度調整ハンドルを取り外します。
 - ③止ビス、温度調整カラーを取り外します。
 - ④カートリッジ止ナットを取り外し、サーモスタットカートリッジを引き抜きます。
 - ⑤サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

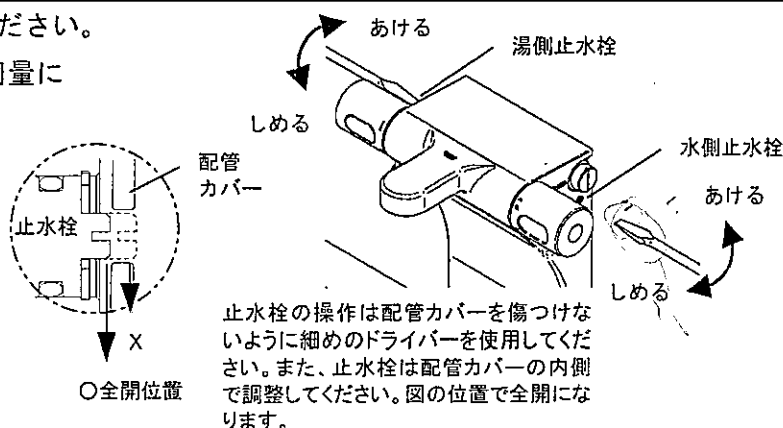
「お願い」 組み立て時は、カートリッジ止ナットはスパナ等で確実に締め付けてください。取り付け後は、温度調整ハンドルのストップ位置が、吐水温度(40℃)と合っているか確認してからご使用ください。



流量(止水栓)の調整方法

流量調整は右記の方法で行なってください。

※水と湯の流量が3 : 1程度か、同量になるようにしてください。



故障かなと思ったら・・・

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	点検箇所
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	取扱説明書 4 ページ 「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません	—	—
吐水量が少ない シャワーが弱い	止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 4 ページ 「ストレーナの清掃方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	9 ページ 「サーモスタット清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	水側止水栓は十分に開いていますか	水側止水栓を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	9 ページ 「サーモスタット清掃方法」
低温しか出ない	湯側止水栓は十分に開いていますか	湯側止水栓を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	9 ページ 「サーモスタット清掃方法」
	給水圧力が給湯圧力より高くなっていますか	水側止水栓で水量を調整する	9 ページ 「流量の調節方法」
	必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を 10℃以上上げる	—	—
温度調整がうまくいかない	水側、湯側の止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
	水側、湯側のストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 4 ページ 「ストレーナの清掃方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていますか	サーモスタットを清掃する	9 ページ 「サーモスタット清掃方法」
	給湯機から十分なお湯がきていますか	給湯機の設定温度、作動を確認する	—
	温度調整ハンドルの設定は合っていますか	温度調整ハンドルの設定、作動を確認する	—
	湯水を逆に配管していませんか	給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください	—
吐水が飛び散る	吐水口の泡沫器にゴミ等がつまっていますか	吐水口の泡沫器を清掃する	取扱説明書 4 ページ 「泡沫器の清掃方法」
シャワーの散水状態が安定しない	給水圧力が給湯圧力より高くなっていますか	水側止水栓で水量を調整する	9 ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分なお湯がきていますか	給湯機の設定温度、作動を確認する	—

水栓本体内部のメンテナンスをする場合

修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはGROHE修理受付センターにご依頼ください。

△注意